

付属資料

1 ビジョンの策定経過

○長期ビジョン推進懇話会

(長期ビジョンおよびふくい創生・人口減少対策戦略の策定に当たり、各界から幅広く意見を聴取)

開催日	テーマ
R1. 8. 5	福井県の目指す将来像およびその実現のために必要なこと
R1. 10. 24	「福井県長期ビジョン」および第2期「ふくい創生・人口減少対策戦略」の骨子(素案)について
R2. 1. 15	「福井県長期ビジョン」および第2期「ふくい創生・人口減少対策戦略」の中間とりまとめ(案)について



○福井県議会

(「福井県長期ビジョンに関する特別委員会」などにおいて、将来像等を議論)

議会	内容
令和元年 6月議会	「福井県長期ビジョン」の策定について
9月議会	「福井県長期ビジョン」骨子(素案)
12月議会	「福井県長期ビジョン」中間とりまとめ(案)
令和2年 2月議会	「福井県長期ビジョン」(素案)

○市町別意見交換会

(各市町において、住民・市町議員・職員と意見交換)

開催日	開催市町	参加人数
R1. 8. 7	高浜町	25名
8. 8	若狭町	24名
8. 19	敦賀市	15名
8. 19	鯖江市	37名
8. 19	越前町	15名
8. 20	小浜市	24名
8. 21	福井市	22名
8. 21	南越前町	25名
8. 22	坂井市	21名
8. 23	美浜町	22名
8. 23	おおい町	27名
8. 27	大野市	23名
8. 27	越前市	22名
8. 29	勝山市	32名
8. 30	あわら市	27名
9. 3	永平寺町	20名
9. 13	池田町	14名



○ブロック別意見交換会

(各ブロックにおいて市町職員と意見交換)

開催日	開催地域
R1. 11. 26	福井坂井地域、嶺南地域
11. 27	丹南地域、奥越地域

○分野別意見交換会

(各分野の現場で活動している方々と意見交換)

開催時期	分野	開催回数
R1. 7. 2～	産業・労働分野	51回
	農林水産分野	84回
	まちづくり・観光・文化・交通分野	42回
	結婚・子育て・県民活躍分野	9回
	医療・健康・介護・福祉分野	14回
	防災・環境分野	16回
	教育分野	15回

○県外在住者との交換会

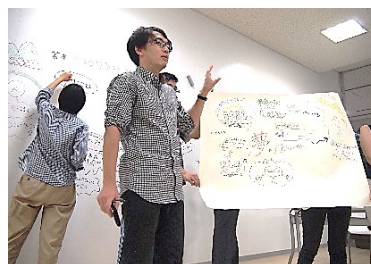
(県外学生・社会人、福井へのUターン者等と意見交換)

開催日		参加者数
R1. 9. 4	福井出身大学生サークル(県外学生)	4名
9. 5	河和田アートキャンプ、竹田Tキャンプ参加学生(県外学生)	21名
9. 5～	県内地域おこし協力隊	20名
9. 12	首都圏の福井に縁がある社会人(県外社会人)	22名
11. 12	関西福井マスコミ会、関西在住の福井出身大学生	24名

○世代別意見交換会

(学生、若者、子育て世代の公募参加者によるワークショップ)

開催日	概要	参加者数
R1. 8. 10	地方創生を学ぶワークショップ	68名
8. 31	福井の将来像と実現のための方策について発表	88名



＜各世代のワークショップ概要（グラフィックレコーディング）＞

学生世代：「夢にチャレンジできる福井」



若者世代：「若者がワクワクする福井」



子育て世代：「子どもと一緒にシアワセになる福井」



○長期ビジョンに関する講演会
 (各分野の専門家等による公開セミナー)

開催日	テーマ、講師	参加者数
R1. 8. 5	世界文明と福井文化の共生 福井県立大学 学長 進士五十八 氏	111名
8. 6	A I 技術で語る福井の未来 メディアスケッチ(株) 代表取締役 伊本貴士 氏	89名
9. 5	創造基盤で未来を創る (株)応用芸術研究所 所長 片木孝治 氏	63名
10. 3	SDGsによる新たな価値の創造 ー持続可能な経済・社会・環境モデルを目指してー 慶應義塾大学大学院 教授 蟹江憲史氏	126名
10. 4	人生100年時代の安心ライフ ー持続可能な医療・介護制度を考えるー 国立社会保障・人口問題研究所 所長 遠藤久夫氏	67名
10. 13	福井をもっとおもしろく！ ー文化×エンターテイメントー 福井県立大学 学長 進士五十八 氏 福井ブランド大使 パトリック・ハーラン 氏 文化庁地域文化創生本部 研究官 朝倉由希 氏	78名
11. 20	A I 技術で語る福井の未来 人材育成編 ーA I 時代に活躍できる人材と育成方法ー メディアスケッチ(株) 代表取締役 伊本貴士 氏	61名
R2. 1. 23	「地域の秘密」が未来をつくる ー鍵を握るKNT（小ネタ）理論とはー 東京大学社会科学研究所 教授 玄田有史 氏、教授 中村尚史 氏、教授 宇野重規 氏	202名



○出前ワークショップ
 (学校等におけるワークショップ)

開催日	団体名	参加者数
R1. 10. 2	越前市立南越中学校1年生	100名
10. 16	福井市立酒生小学校5年生	30名
11. 25	仁愛大学コミュニケーション学科	85名
12. 3	勝山市校長会	11名
R2. 1. 11	東福考実行委員会	20名
1. 17	福井県民生活協同組合	40名
1. 17	鯖江ロータリークラブ	30名
1. 30	福井県立高志中学校1年生	90名
2. 15	福井県商工会議所青年部連合会	160名
2. 18	福井県立高志中学校1年生	88名
2. 26	福井市中央公民館	13名



○FUKUI未来トーク
 (県民自身が、将来像実現に向けた「私のアクション」について考え、語る会)

テーマ：「2040年、福井をおもしろい県No. 1にするには」

開催日	グループ	参加者数
R2. 2. 19	子育て中の母親の同級生グループ	4名
3. 5	坂井市でまちづくりに関わる若者グループ	5名
3. 27	鯖江市で地域活性化のために活動する学生グループ	7名



<懇話会委員名簿>

役 職 等	氏 名
文化庁地域文化創生本部研究官	朝倉 由希
(一社) 福井県医師会会長	池端 幸彦
総合型地域スポーツクラブ福井県連絡協議会アドバイザー	石田 八州子
メディアスケッチ(株)代表取締役	伊本 貴士
元地域おこし協力隊。カフェ irodori.Labo. 経営	宇野 早希
ふくい若者フォーラム会長	大嶋 歩
福井県連合青年団団長	岡井 里紗
福井県私立学校連合会会長	荻原 昭人
アーチザン&パートナーズ代表	景山 直恵
(公社) 福井県観光連盟会長	勝木 健俊
福井県経済団体連合会会長	伊東 忠昭
(株) アイピーアライアンス代表取締役社長	木嶋 豊
女性起業家グループ「ふくむすび会」初代会長	後藤 ひろみ
福井県社会福祉協議会会長	小藤 幸男
(一財) 福井県老人クラブ連合会副会長・女性委員長	重久 博子
福井県立大学学長	進士 五十八 [座長]
福井県町村会会長	杉本 博文
大野商工会議所青年部前会長	杉本 和歌子
福井県私立幼稚園・認定こども園協会副会長	高木 薫子
ふくい女性ネット11期代表	田中 香苗
福井県高等学校長協会会長	田中 幸治
田中農園(株)代表取締役	田中 勇樹
(公財) ふくい女性財団理事長	田村 洋子
(一財) 日本総合研究所会長	寺島 実郎
福井県農業協同組合中央会専務理事	永井 侯
福井県文化協議会会長	中嶋 茂男
ふくいブランド大使	パトリック・ハーラン
ふくい若者フォーラム副会長	林 昇平
(一社) 福井県銀行協会会長	林 正博
福井県市長会会長	東村 新一
若狭路女将の会会長	藤原 秀美
ゲストハウスSAMMIE'Sオーナー	森岡 咲子
福井労働局 雇用環境・均等室長	山本 久恵
ユニフォームネクスト(株)代表取締役	横井 康孝
日本労働組合総連合会福井県連合会会長	横山 龍寛
(株)福井新聞社代表取締役社長	吉田 真士
(一社) 福井県介護福祉士会会長	渡辺 かづ代
福井県小学校長会理事	渡辺 裕美

38名(五十音順) 敬称略

2 県民アンケート

I 調査の概要

1 調査目的

「福井県長期ビジョン」を策定するにあたり、有識者による懇話会や県民との地区別・世代別・分野別意見交換会とともに、アンケート調査を実施することによって、広く県民の意見を把握し、ビジョンにおける将来像や戦略に反映させる。

2 調査内容

(1) 県民の価値観

県民が抱く豊かさの定義や消費志向、大切にしている人のつながりなど、県民の価値観を把握し、過去の調査結果と比較を行うことにより、より県民の思いに近い福井県の将来の姿を示す。

(2) 暮らしの満足度

県民の福井県に対する現在の評価や県外との比較を行うことにより、ビジョンにおける具体的な政策・戦略の内容や優先順位を決定していく際の参考とする。

(3) 県民の希望

県民の福井県の将来に対する希望（良くなってほしいと思うこと等）を把握することにより、ビジョンにおける政策・戦略の方向性を決定していく際の参考とする。

(4) 県民が必要と考える方策

福井県の現状をふまえ、県民が望ましいと思う将来像や実現のために必要と考える方策を把握することにより、戦略の方向性と具体的な内容を決定していく際の参考とする。

(5) 分野ごとの充足度・将来の重要度についての県民の主観的指標

県民が考える現在の充足度や将来における重要度を分野ごとに細分化することにより「都道府県幸福度ランキング」における客観的指標データを補足する。

3 調査期間

令和元年8月29日～9月12日

4 調査方法

郵送による調査票配布、回収

5 調査対象

県内に居住する満18歳以上の5,000人
(住民基本台帳から年代別に無作為抽出)

6 回答者数

2,504人(回収率50.08%)

7 回答者の属性

○居住地

	送付数	回答数	回収率	割合
福井市	1,678	813	48.5%	32.5%
あわら市	187	94	50.3%	3.8%
坂井市	574	271	47.2%	10.8%
永平寺町	127	57	44.9%	2.3%
大野市	212	107	50.5%	4.3%
勝山市	153	72	47.1%	2.9%
鯖江市	440	196	44.5%	7.8%
越前市	525	243	46.3%	9.7%
越前町	135	65	48.1%	2.6%
池田町	17	7	41.2%	0.3%
南越前町	68	35	51.5%	1.4%
敦賀市	419	171	40.8%	6.8%
小浜市	188	102	54.3%	4.1%
美浜町	63	23	36.5%	0.9%
高浜町	68	28	41.2%	1.1%
おおい町	52	23	44.2%	0.9%
若狭町	94	56	59.6%	2.2%
未記入・無効等	-	141	-	5.6%
計	5,000	2,504	50.08%	100.0%

○年齢

	送付数	回答数	回収率	割合
10代	121	25	20.7%	1.0%
20代	510	153	30.0%	6.1%
30代	621	237	38.2%	9.5%
40代	814	334	41.0%	13.3%
50代	744	358	48.1%	14.3%
60代	839	486	57.9%	19.4%
70代～	1,351	776	57.4%	31.0%
未記入・無効等	-	135	-	5.4%
計	5,000	2,504	50.08%	100.0%

○性別

	回答数	割合
男	1,077	43.0%
女	1,277	51.0%
未記入・無効等	150	6.0%
計	2,504	100.0%

○職業

	回答数	割合
自営業	212	8.5%
家族従事者	45	1.8%
会社役員・団体役員	92	3.7%
会社員・公務員	780	31.2%
パート・アルバイト	364	14.5%
学生	40	1.6%
専業主夫・主婦	267	10.7%
無職	476	19.0%
その他	85	3.4%
未記入・無効等	143	5.7%
計	2,504	100.0%

○世帯構成

	回答数	割合
ひとり暮らし(単身赴任を含む)	78	3.1%
夫婦のみ	450	18.0%
2世代同居世帯(本人(夫婦を含む)と子ども)	780	31.2%
2世代同居世帯(本人(夫婦を含む)と親など)	278	11.1%
3世代同居世帯(本人と子どもと孫)	310	12.4%
3世代同居世帯(親と本人と子ども)	306	12.2%
3世代同居世帯(本人と親と祖父母など)	75	3.0%
その他	107	4.3%
未記入・無効等	120	4.8%
計	2,504	100.0%

○配偶者の有無

	回答数	割合
有	1,873	74.8%
無	482	19.2%
未記入・無効等	149	6.0%
計	2,504	100.0%

○共働き(配偶者がいる方のみ)

	回答数	割合
共働きである	988	52.7%
共働きではない	774	41.3%
未記入・無効等	111	5.9%
計	1,873	100.0%

○小学生以下の子どもの有無

	回答数	割合
いる(未就学児)	239	9.2%
いる(小学生)	246	9.5%
いない	1,843	71.2%
未記入・無効等	261	10.1%
計	2,589	100.0%

* 未就学児および小学生の子どもがいる回答者85名

○祖父母の家の範囲(小学生以下子どもがいる方のみ)

	回答数	割合
同居	126	31.5%
同じ敷地内の別家屋	55	13.8%
車で15分未満の範囲	124	31.0%
車で15～30分以内の範囲	30	7.5%
車で30分を超える範囲	27	6.8%
その他	15	3.8%
未記入・無効等	23	5.8%
計	400	100.0%

II 調査結果の概要

1 県民の価値観

<大切なこと> 問1関係

- ・日々の生活の中で、「家族との触れ合い」、「経済的な豊かさ」、「自分の好きなように生活」を大切に考えている。
- ・「福井県民の将来ビジョン」に関するアンケート調査（以下2010年調査という）との比較では、「経済的な豊かさ」（27.9%（3位）→29.4%（2位））、「自分の好きなように生活」（19.0%（5位）→25.8%（3位））の割合が増えた。

<豊かさの定義> 問2関係

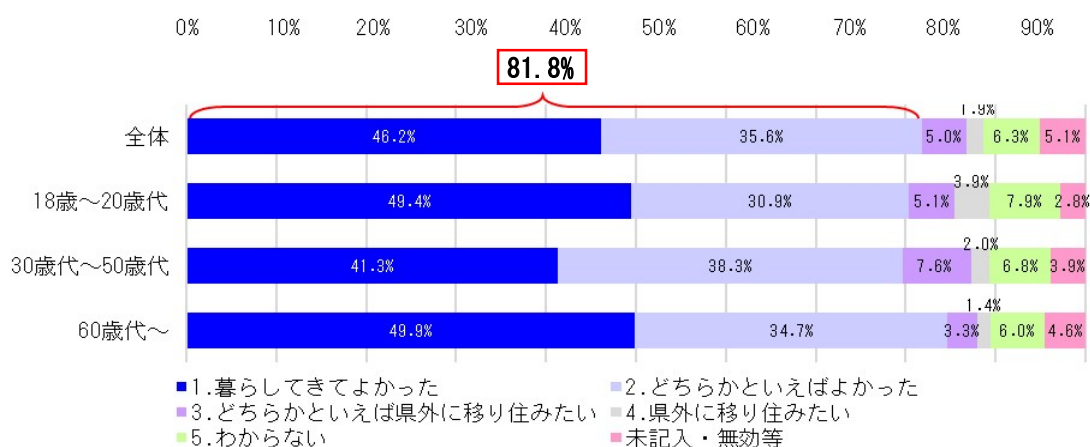
- ・「心身の健康」、「安定した家族関係」、「生きがいや目標を持った生活」を豊かさであると考えている。
- ・上位3項目については、2010年調査からの変化はなかった。

<消費の志向> 問3関係

- ・「健康・医療」、「食」、「趣味・レジャー」に積極的にお金を使いたいと考えている。
- ・2010年調査との比較では、「食」（31.5%（3位）→38.2%（2位））、「趣味・レジャー」（32.1%（2位）→37.6%（3位））の順位が入れ替わった。

2 暮らしの満足度 問11,12関係

- ・2010年調査に引き続き県民の8割以上が福井での暮らしに満足しているという結果になった。
- ・福井の良いところとして「豊かな自然環境」、「災害や犯罪が少なく安心」、「温かい人間関係を大切にしている」が上位3項目を占め、2010年調査からの変化はなかった。



3 県民の希望 問18,19関係

- ・将来の福井に、「道路や鉄道などの交通基盤の整備」、「福祉・医療サービスの充実」、「災害や犯罪が少なく安心して暮らせること」を願っている。
- ・18歳～20歳代を見ると、「商業施設等の充実」、「娯楽施設が整い、趣味やスポーツを楽しむことができる」を希望する割合が高くなっている。
- ・2010年調査との比較では「道路や鉄道などの交通基盤の整備」（27.1%（5位）→38.9（1位））の割合が増えた。
- ・一方で、「人口減少による集落の縮小」、「産業が衰退し、働く場が不足する」「福祉や医療サービスの不足」について将来不安に感じており、特に「人口減少による集落の縮小」について、2010年調査から大幅に割合が増えた（45.3%（2位）→62.8%（1位））。

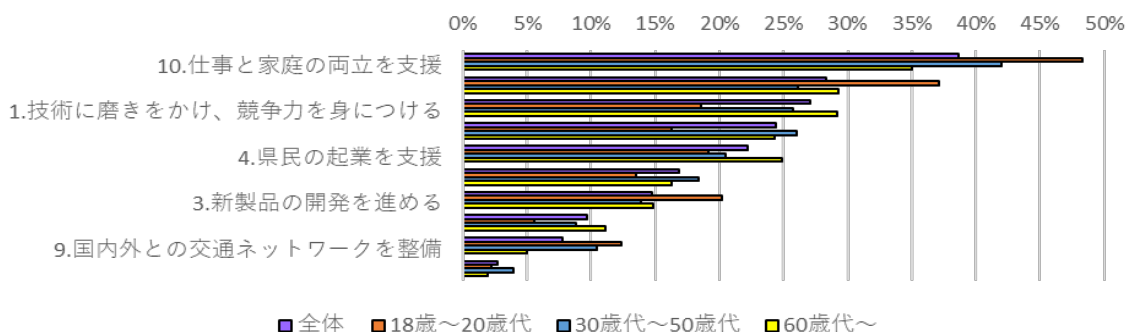
4 県民が必要と考える方策

<人材育成> 問 20 関係

・福井の将来に向けてどのような人を育成すべきかについて、「ふるさと福井に愛着や誇りを持ち、地域に貢献する人」、「実践的な能力を身に着けた人」が9割を超えた。

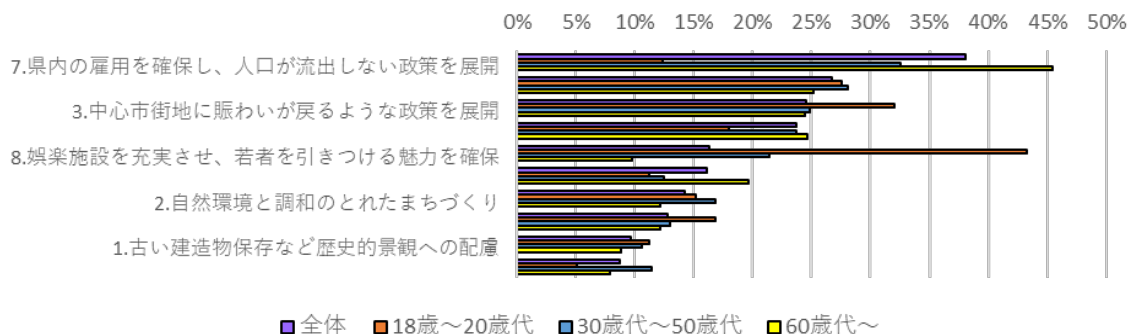
<産業活性化> 問 21 関係

・産業活性化のための方策として、「働きやすい職場環境づくり」、「県内企業が新しい分野に積極的に進出」、「県内企業が持つ優れた技術に磨きをかけ、競争力を身につけること」が上位に挙げられた。



<まちづくり> 問 22 関係

・将来に向けたまちづくりの方策として、「雇用の確保などによる人口流出への対応」、「道路や公共交通機関の整備」、「中心市街地の賑わいづくり」が上位に挙げられた。

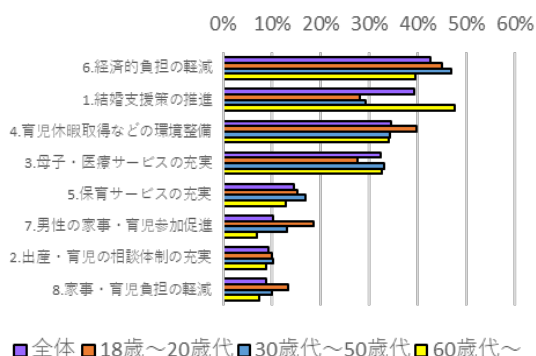


5 人口減少対策として必要と考える方策 問 23,24 関係

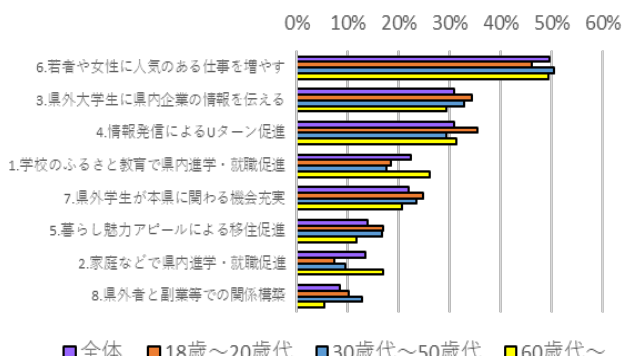
・自然減対策としては「育児や教育にかかる経済的負担への支援」、「若者の出会いの場の提供などの結婚支援」、「産前・産後休暇や育児休業が取得しやすい職場環境の整備を支援」が上位に挙げられた。

・社会減対策としては「若者や女性に人気のある仕事を増やすこと」、「県外大学との連携を強化し、県内企業の情報を学生に直接伝える仕組みを整備」、「県外に住む本県出身者に福井の情報を定期的に発信することにより、本県へのUターンを促進」が上位に挙げられた。

<自然減対策>



<社会減対策>



Ⅲ 項目別の調査結果

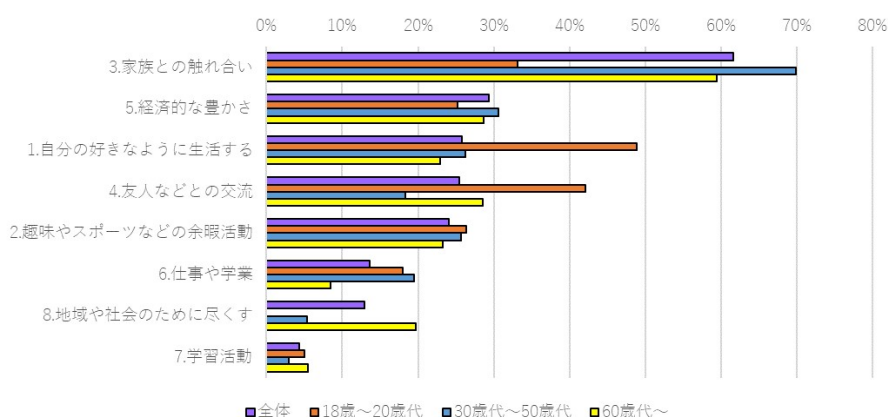
問1 あなたが、日々の生活の中で大切にしたいと思っていることはどのようなことですか。最も当てはまるものを2つ選んで○をつけてください。

- 答**
1. 自分の好きなように生活すること (647)
 2. 趣味やスポーツ、レジャーなどの余暇活動 (602)
 3. 家族との触れ合い (1544)
 4. 友人など気の合う仲間との交流 (637)
 5. 経済的な豊かさ (735)
 6. 仕事や学業 (342)
 7. 学習活動により自分の能力を高めること (109)
 8. 地域や社会のために尽くすこと (323)

※上記カッコ内は、各項目の回答者数(問2以降も同様)

※下記グラフの割合は、「各項目の回答者数/回答者総数」(問2以降も同様)

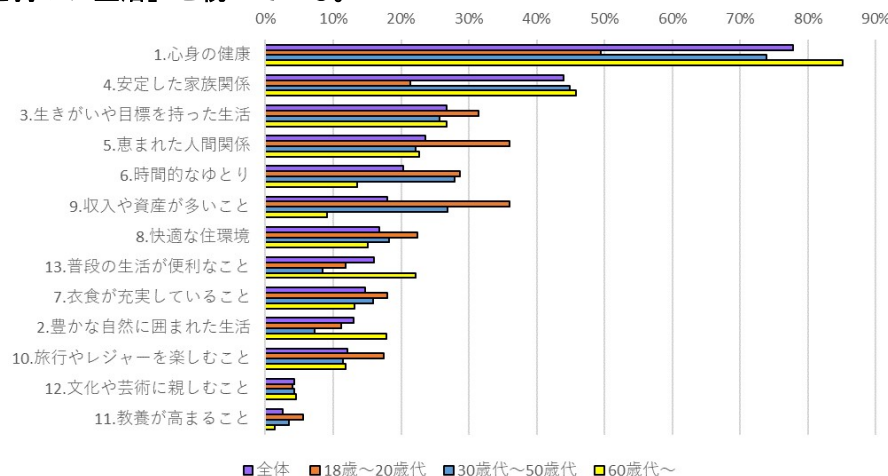
- ・「家族との触れ合い」の割合が61.7%で群を抜いて高く、次いで「経済的な豊かさ」、「自分の好きなように生活する」と続いた。
- ・18歳～20歳代では「自分の好きなように生活する」の割合が48.9%で最も高く、次いで「友人など気の合う仲間との交流」が続いている。



問2 あなたにとって「豊かさ」とはどのようなことですか。最も当てはまるものを3つ選んで○をつけてください。

- 答**
1. 心身の健康 (1947)
 2. 豊かな自然に囲まれた生活 (326)
 3. 生きがいや目標を持った生活 (668)
 4. 安定した家族関係 (1101)
 5. 恵まれた人間関係 (590)
 6. 時間的なゆとり (509)
 7. 衣食が充実していること (368)
 8. 快適な住環境 (422)
 9. 収入や資産が多いこと (449)
 10. 旅行やレジャーを楽しむこと (302)
 11. 教養が高まること (63)
 12. 文化や芸術に親しむこと (106)
 13. 交通や買い物など普通の生活が便利なこと (402)

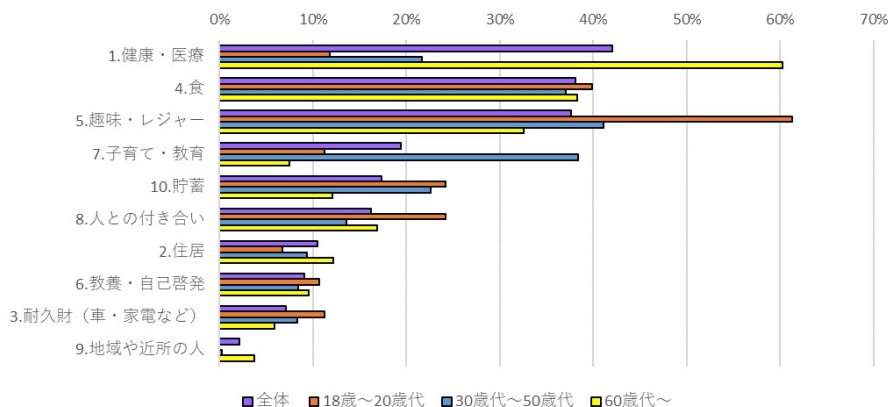
- ・「心身の健康」の割合が77.8%で群を抜いて高く、次いで、「安定した家族関係」、「生きがいや目標を持った生活」と続いている。



問3 あなたは日々の生活で、何に積極的にお金を使いたいと思っていますか。最も当てはまるものを2つ選んで○をつけてください。

- 答 1. 健康・医療 (1053) 2. 住居 (262) 3. 耐久財 (車・家電など) (178) 4. 食 (954)
 5. 趣味・レジャー (942) 6. 教養・自己啓発 (226) 7. 子育て・教育 (486)
 8. 人との付き合い (405) 9. 地域や近所の人 (54) 10. 貯蓄 (434)

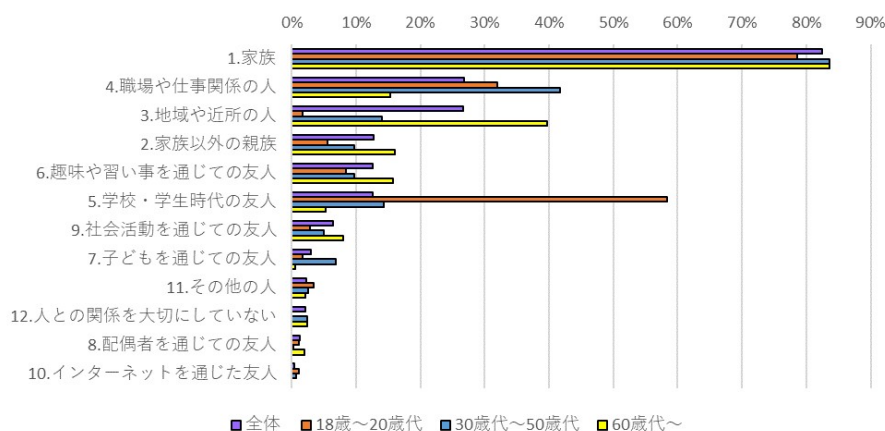
・「健康・医療」の割合が42.1%で最も高く、次いで「食」、「趣味・レジャー」が続いた。
 ・年代別にみると、50歳代以下は「趣味・レジャー」の割合が最も高く、60歳代以上では、「健康・医療」の割合が、50歳代以下に比べ相当高くなっている。



問4 あなたは日々の生活で、どのような人との関係を大切にしていますか。最も当てはまるものを2つ選んで○をつけてください。

- 答 1. 家族 (2064) 2. 家族以外の親族 (320) 3. 地域や近所の人 (666)
 4. 職場や仕事関係の人 (672) 5. 学校・学生時代の友人 (314)
 6. 趣味や習い事を通じての友人 (315) 7. 子どもを通じての友人 (76)
 8. 配偶者を通じての友人 (31) 9. 社会活動を通じての友人 (161)
 10. インターネットを通じた知人 (10) 11. その他の人 (58)
 12. 人との関係を大切にしていない (55)

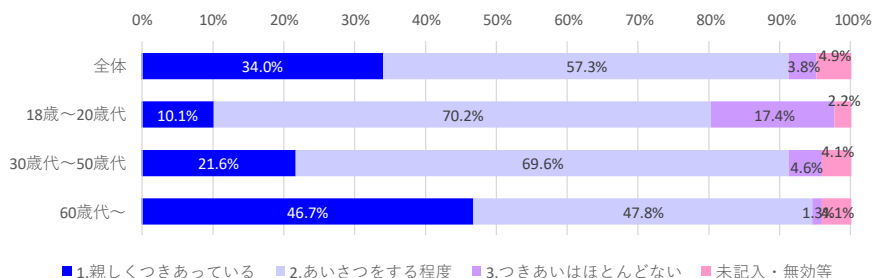
・「家族」の割合が82.4%で群を抜いて高く、2010調査結果(81.4%)と同水準の結果となった。
 ・年代別にみると18歳~20歳代では「学校・学生時代の友人」、30歳代~50歳代では「職場や仕事関係の人」、60歳代以上では「地域や近所の人」の割合が高くなっている。



問5 あなたは、ふだん、近所の人とどの程度のつきあいをしていますか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- 答 1. 親しくつきあっている (852) 2. あいさつをする程度 (1435)
3. つきあいはほとんどない (95) 未記入・無効等 (123)

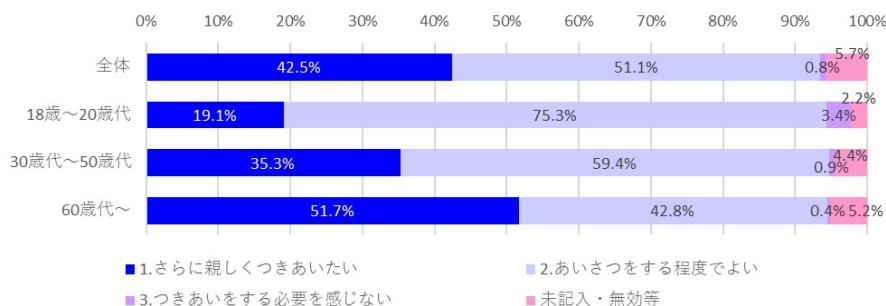
- ・「親しくつきあっている」の割合が34.0%、「あいさつをする程度」の割合が57.3%で、91.3%が何らかの近所づきあいをしている。一方で、「つきあいはほとんどない」は3.8%であった。
- ・年代別にみると、60歳代以上で「親しくつきあっている」の割合が46.7%であるのに対し、18歳～20歳代では10.1%となっており、年代間で大きな差がみられた。



問6 近所の人とのつきあいについて、これからどうしていきたいとお考えですか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- 答 1. さらに親しくつきあいたい (1063) 2. あいさつをする程度でよい (1279)
3. これからもつきあいをする必要を感じない (20) 未記入・無効等 (142)

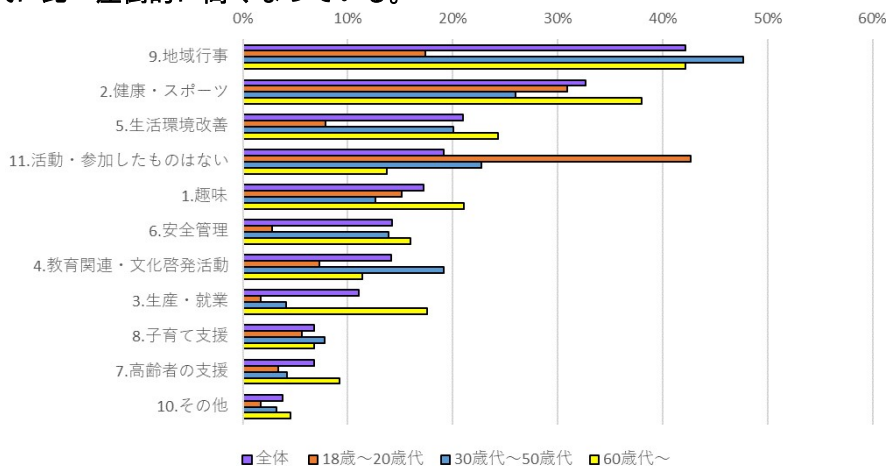
- ・「あいさつをする程度でよい」の割合が最も高く51.1%であり、「さらに親しくつきあいたい」が42.5%、「つきあいをする必要を感じない」が0.8%であった。
- ・年代別にみると、60歳代以上の「さらに親しくつきあいたい」の割合が5割を超えており、18歳～50歳代よりもかなり高くなっている。



問7 あなたは、この1年間に、個人または友人と、あるいはグループや団体で自主的に行われている次のような活動を行った、または参加したことがありますか。この中からいくつでも選んで○をつけてください。

- 答
1. 趣味（俳句、詩吟、陶芸等）（413）
 2. 健康・スポーツ（体操、歩こう会、ゲートボール等）（818）
 3. 生産・就業（生きがいのための園芸・飼育、シルバー人材センター等）（276）
 4. 教育関連・文化啓発活動（学習会、子供会の育成、郷土芸能の伝承等）（353）
 5. 生活環境改善（環境美化、緑化推進、まちづくり等）（525）
 6. 安全管理（交通安全、防犯・防災等）（355）
 7. 高齢者の支援（家事援助、移送等）（170）
 8. 子育て支援（保育への手伝い等）（171）
 9. 地域行事（祭りなどの地域の催しものの世話等）（1056）
 10. その他（94）
 11. 活動・参加したものはなし（479）

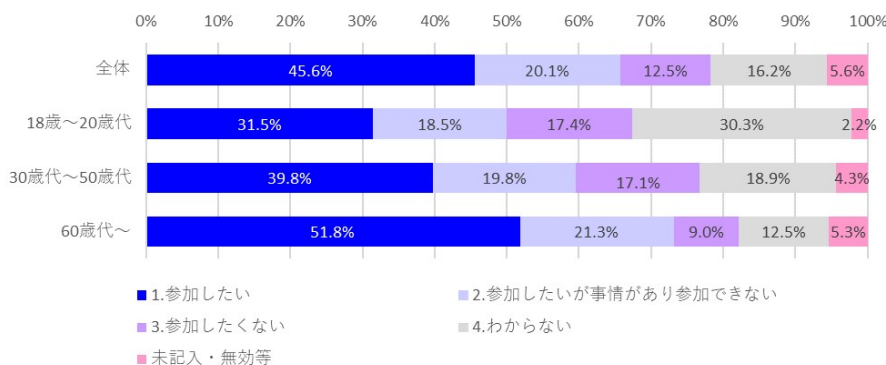
- ・「地域行事」の割合が42.2%で最も高く、次いで、「健康・スポーツ」、「生活環境改善」と続いた。一方で、「活動・参加したものはなし」が19.1%であった。
- ・年代別にみると、18歳から20歳代の「活動・参加したものはなし」の割合が42.7%であり他の年代に比べ圧倒的に高くなっている。



問8 あなたは、グループや団体で自主的に行われている活動(地域活動)に、今後とも(又は今後は)、参加したいと思いませんか。参加したくないと思いませんか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- 答
1. 参加したい（1141）
 2. 参加したいが、事情があって参加できない（504）
 3. 参加したくない（314）
 4. わからない（406）
 - 未記入・無効等（139）

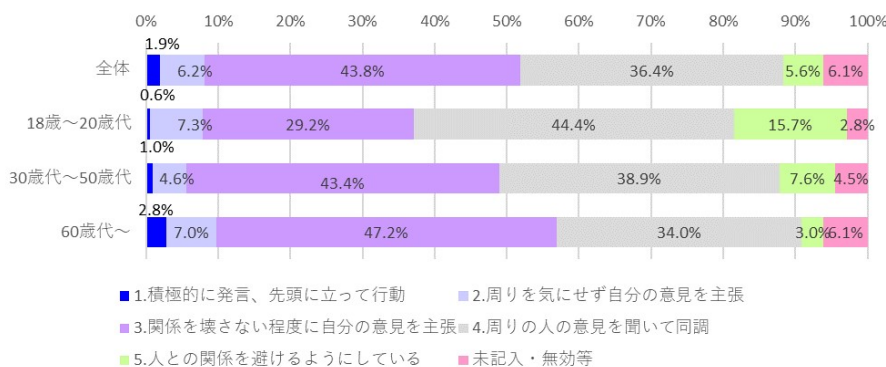
- ・「参加したい」の割合が45.6%で半数を割りこみ、いずれの年代でも2010年調査の結果（51.0%）を下回った。
- ・年代別にみると、60歳以上の「参加したい」の割合が18歳～50歳代よりも高く5割を超えている。



問9 あなたは自分が住んでいる地域で、どのように行動していますか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- 答
1. 積極的に発言し、先頭に立って行動するようにしている。(48)
 2. 先頭に立つつもりはないが、周りの人のことを気にせず自分の意見を主張するようにしている。(154)
 3. 周りの人との関係を壊さない程度に自分の意見を主張するようにしている。(1098)
 4. 自分の意見は主張せず、周りの人の意見を聞いて、正しいと思う意見や多数意見に同調するようにしている。(912)
 5. 人との関係をできるだけ避けるようにしている。(141)

- ・「関係を壊さない程度に自分の意見を主張」の割合が40%以上を占め、次いで、「周りの人の意見を聞いて同調」が続いた。
- ・年代別にみると、18歳～50歳代の「周りの人の意見を聞いて、正しいと思う意見や多数意見に同調」の割合が60歳代以上よりも高くなっている。

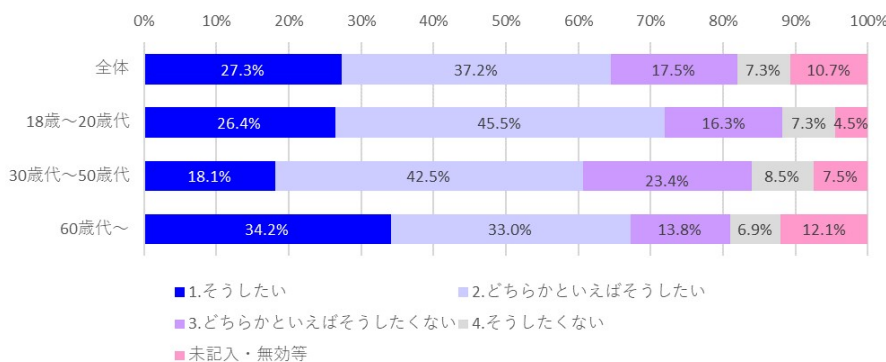


問10 あなたは自分の老後をどのように過ごしたいと思っていますか。次のA～Gの項目の1～4について、最も当てはまるものを1つずつ選んで○をつけてください。

A. 子どもや孫と一緒に暮らす

- 答
1. そうしたい (683)
 2. どちらかといえばそうしたい (932)
 3. どちらかといえばそうしたくない (437)
 4. そうしたくない (184)

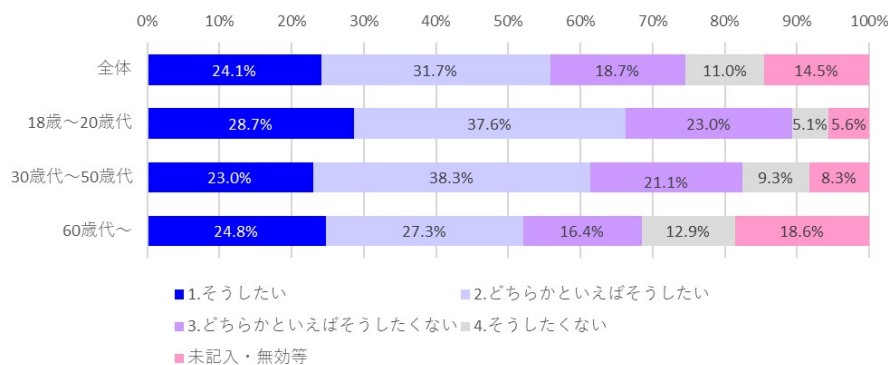
- ・「そうしたい」の割合が27.3%、「どちらかといえばそうしたい」が37.2%で、両方を合わせた「老後は子どもや孫と一緒に暮らしたい(計)」が64.5%となり、2010年調査の結果(71.9%)を下回った。



B. 夫婦2人きりで暮らす

- 答 1. そうしたい (604) 2. どちらかといえばそうしたい (794)
 3. どちらかといえばそうしたくない (468) 4. そうしたくない (275)

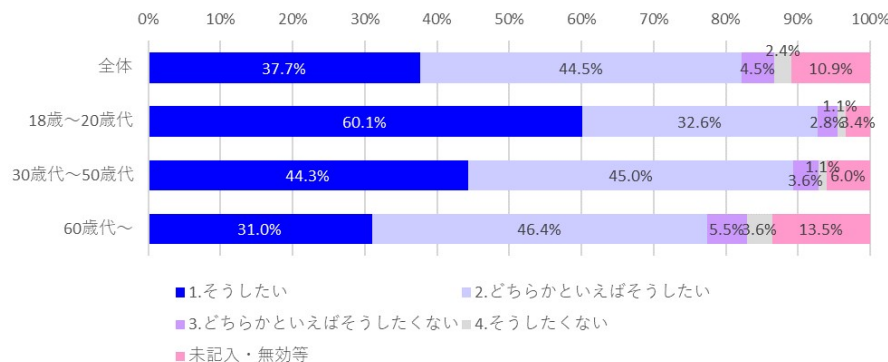
・「そうしたい」の割合が24.1%、「どちらかといえばそうしたい」が31.7%で、両方を合わせた「老後は夫婦2人きりで暮らしたい(計)」が55.8%となり、2010年調査の結果(50.0%)を上回った。



C. 自分の趣味に時間をかける

- 答 1. そうしたい (944) 2. どちらかといえばそうしたい (1115)
 3. どちらかといえばそうしたくない (113) 4. そうしたくない (60)

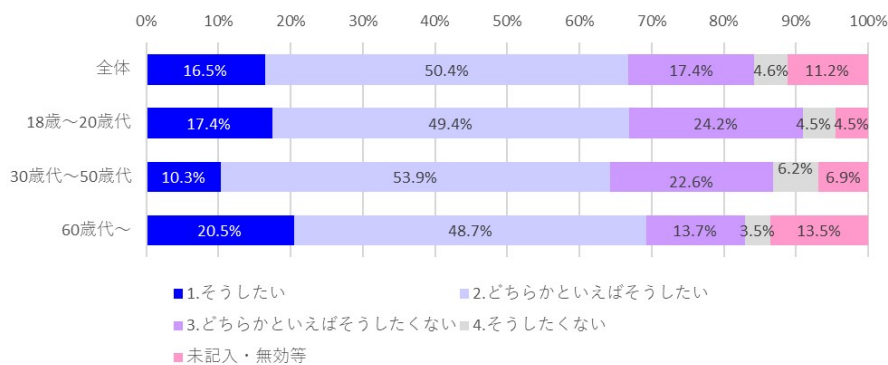
・「そうしたい」の割合が37.7%、「どちらかといえばそうしたい」が44.5%で、両方を合わせた「老後は自分の趣味に時間をかけたい(計)」が82.2%となり、2010年調査の結果(79.8%)を上回った。



D. 地域の人と交流する

- 答 1. そうしたい (412) 2. どちらかといえばそうしたい (1261)
 3. どちらかといえばそうしたくない (436) 4. そうしたくない (115)

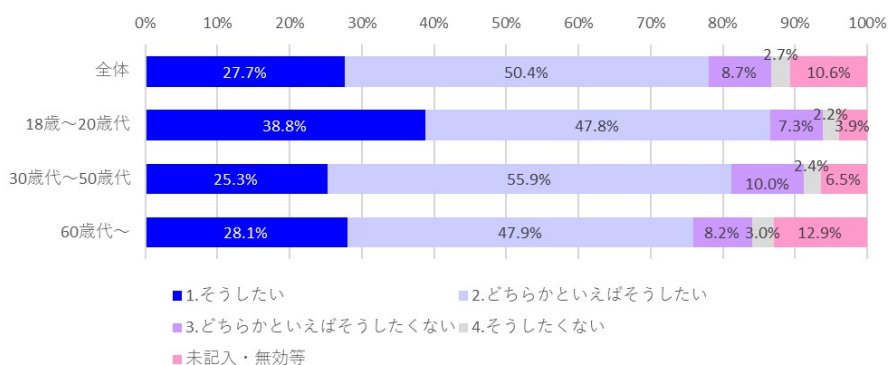
・「そうしたい」の割合が16.5%、「どちらかといえばそうしたい」が50.4%で、両方を合わせた「老後は地域の人と交流したい(計)」が66.9%となり、2010年調査の結果(70.3%)を下回った。



E. 同年代の仲間と交流する

- 答 1. そうしたい (693) 2. どちらかといえばそうしたい (1261)
 3. どちらかといえばそうしたくない (217) 4. そうしたくない (67)

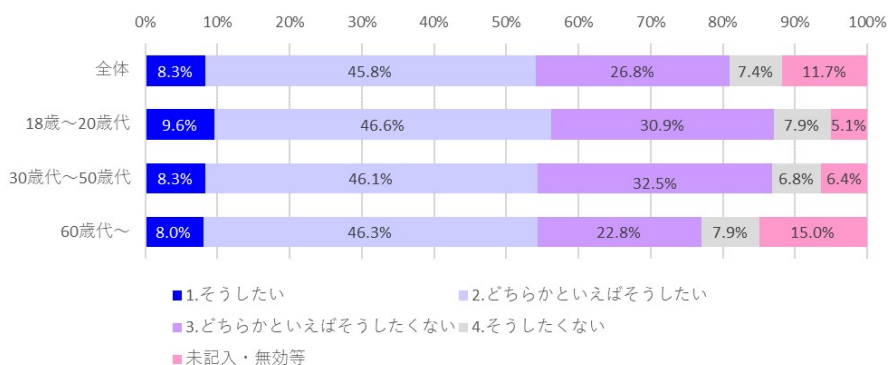
・「**そうしたい**」の割合が27.7%、「**どちらかといえばそうしたい**」が50.4%で、両方を合わせた「**老後は同年代の仲間と交流したい (計)**」が78.1%となり2010年調査の結果(79.5%)を下回った。



F. 若い人たちと交流する

- 答 1. そうしたい (207) 2. どちらかといえばそうしたい (1147)
 3. どちらかといえばそうしたくない (671) 4. そうしたくない (185)

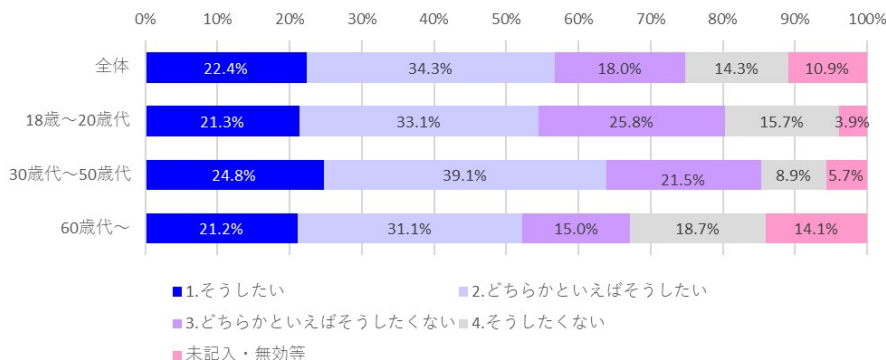
・「**そうしたい**」の割合が8.3%、「**どちらかといえばそうしたい**」が45.8%で、両方を合わせた「**老後は若い人たちと交流したい (計)**」が54.1%となり2010年調査の結果(59.6%)を下回った。



G. できるだけ働き続ける

- 答 1. そうしたい (561) 2. どちらかといえばそうしたい (860)
 3. どちらかといえばそうしたくない (451) 4. そうしたくない (358)

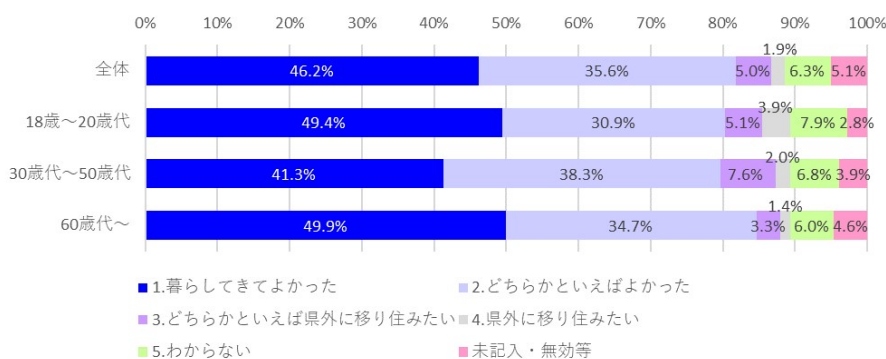
・「そうしたい」の割合が22.4%、「どちらかといえばそうしたい」が34.3%で、両方を合わせた「老後はできるだけ働き続けたい(計)」が56.7%となり2010年調査の結果(61.8%)を下回ったが、60歳代以上では微増となった。



問 11 あなたは自分が福井県に暮らしてきて良かったと思っていますか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- 答 1. 暮らしてきてよかった (1156) 2. どちらかといえば暮らしてきてよかった (891)
 3. どちらかといえば県外に移り住みたい (125) 4. 県外に移り住みたい (47)
 5. わからない (158)

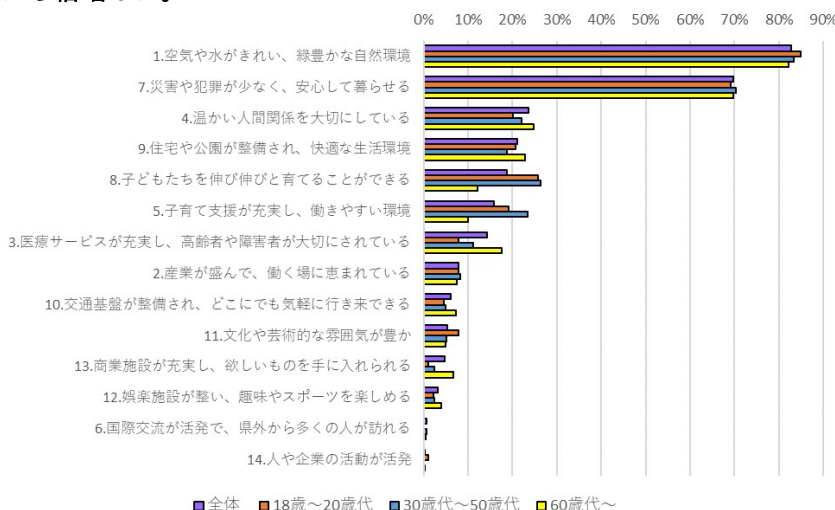
・「暮らしてきてよかった」が46.2%、「どちらかといえば暮らしてきてよかった」が35.6%で、両方を合わせた「福井県に暮らしてきたことに満足(計)」の割合が81.8%となり、2010年調査の結果(82.0%)に引き続き8割を超えた。



問 12 福井県の良いところはどこだと思いますか。最も当てはまるものを3つ選んで○をつけてください。

- 答**
1. 空気や水がきれいで、緑豊かな自然環境が守られている (2072)
 2. 産業が盛んで、働く場に恵まれている (197)
 3. 福祉や医療サービスが充実し、高齢者や障害を持つ人が大切にされている (356)
 4. 地域コミュニティの結びつきが強く、温かい人間関係を大切にしている (590)
 5. 子育て支援が充実し、働きやすい環境が整っている (399)
 6. 国際交流や地域間交流が活発で、県外から多くの人を訪れている (15)
 7. 災害や犯罪が少なく、安心して暮らすことができる (1745)
 8. 学校の教育や施設等が充実し、子どもたちを伸び伸びと育てることができる (472)
 9. 住宅や公園、下水道などが整備され、快適な生活環境の中で暮らすことができる (526)
 10. 道路や鉄道などの交通基盤が整備され、どこにでも気軽に行き来ができる (152)
 11. 伝統芸能や創作活動が盛んで、文化や芸術的な雰囲気が豊かである (132)
 12. 娯楽施設が整い、趣味やスポーツを楽しむことができる (81)
 13. 商業施設等が充実し、欲しいものをいつでも手に入れることができる (117)
 14. 人口が多く、人や企業の活動が活発である (5)

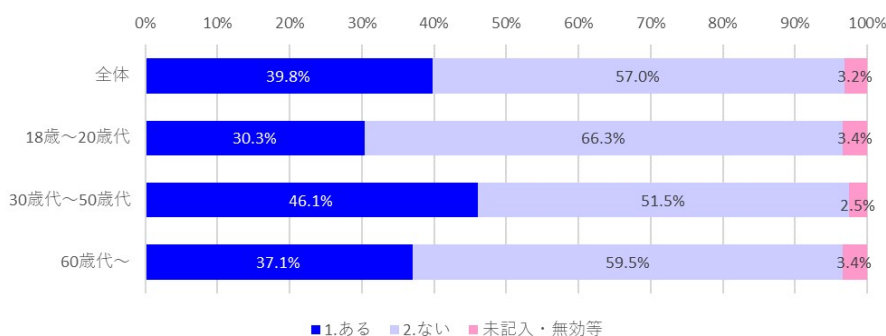
- ・「空気や水がきれいで、緑豊かな自然環境が守られている」が 82.7%、「災害や犯罪が少なく、安心して暮らすことができる」が 69.7%と、ともに半数を大きく上回った。
- ・「子育て支援が充実し、働きやすい環境が整っている」が 15.9%となり、2010 年調査の結果 (7.3%) から倍増した。



問 13 あなたは過去に1年以上、福井県以外の地域で暮らしたことがありますか。当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- 答** 1. ある (996) 2. ない (1428)

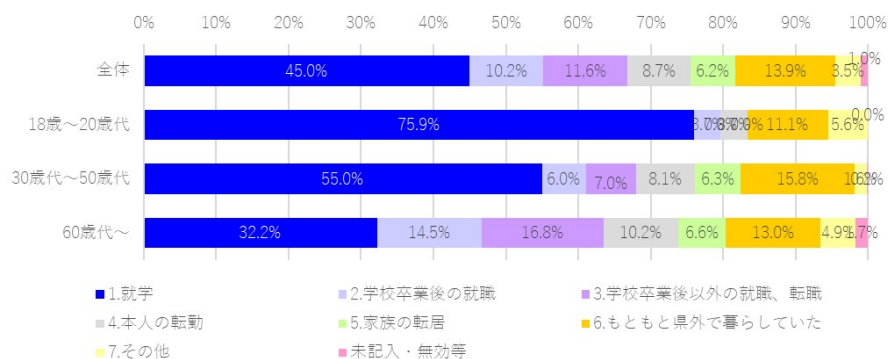
- ・「過去に1年以上、福井県以外の地域で暮らしたことがある」の割合が 39.8%となり、2010 年調査の結果 (34.9%) から増加した。



問 14 問 13 で 1 と答えた方のみお答えください。福井県以外の地域で暮らすことになった理由について、当てはまるものを 1つ 選んでください。複数ある場合には、初めて県外で暮らすことになった時のことについてお答えください。

- 答
1. 就学（専門学校、大学、大学院）（451）
 2. 学校（高校、専門学校、大学、大学院）卒業後の就職（102）
 3. 2 以外の就職、転職（116）
 4. 本人の転勤（87）
 5. 家族の転居（62）
 6. もともと県外で暮らしていた（139）
 7. その他（35）

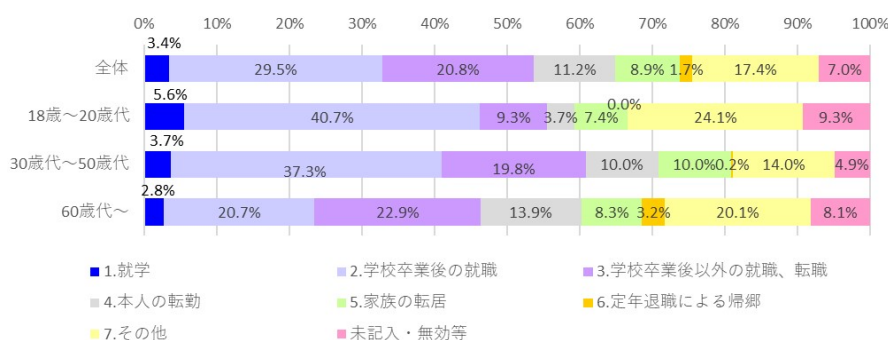
・「就学」の割合が 45.0% で最も高く、次いで「もともと県外で暮らしていた」13.9%、「就職・転職」11.6% と続いている。



問 15 問 13 で 1 と答えた方のみお答えください。福井県以外の地域から福井県に戻る（来る）ことになった理由について、当てはまるものを 1つ 選んでください。複数ある場合には、初めて戻る（来る）ことになった時のことについてお答えください。

- 答
1. 就学（専門学校、大学、大学院）（34）
 2. 学校（高校、専門学校、大学、大学院）卒業後の就職（294）
 3. 2 以外の就職、転職（208）
 4. 本人の転勤（112）
 5. 家族の転居（89）
 6. 定年退職による帰郷（17）
 7. その他（174）

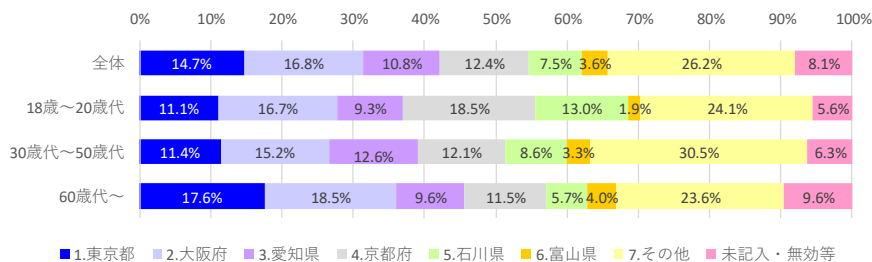
・「学校卒業後の就職」の割合が 29.5% で最も高く、次いで「就職・転職」20.8%、「本人の転勤」11.2% と続いている。



問 16 問 13 で 1 と答えた方のみお答えください。福井県以外で暮らしたことがある地域はどちらですか。当てはまるものを 1つ 選んでください。複数ある場合には、もっとも長く暮らした地域をお答えください。

- 答
1. 東京都（147）
 2. 大阪府（168）
 3. 愛知県（108）
 4. 京都府（124）
 5. 石川県（75）
 6. 富山県（36）
 7. その他（263）

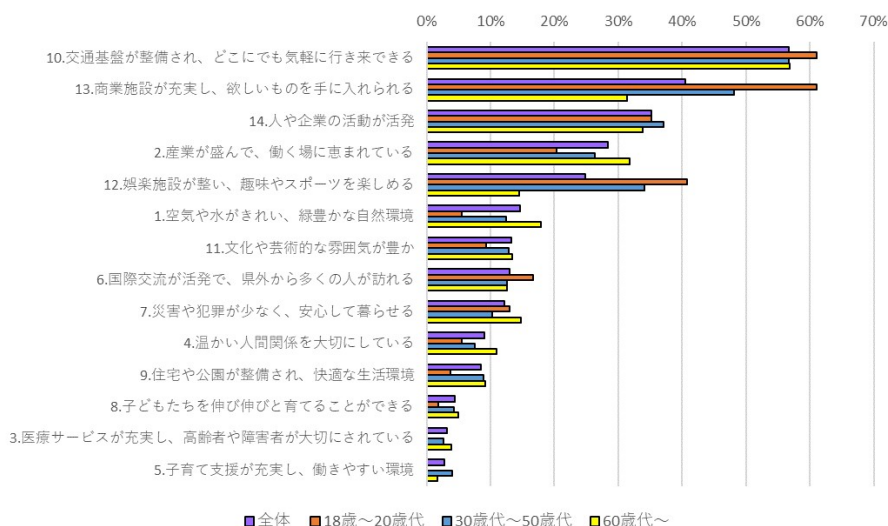
・「大阪府」の割合が 16.8% で最も高く、次いで、「東京都」14.7%、「京都府」12.4% と続いている。
 ・年代別にみると、18 歳～20 歳代で「京都府」の割合が最も高くなっている。



問 17 問 13 で 1 と答えた方のみお答えください。福井県以外の地域で暮らしてみて、福井県よりも良かったと思うことは何ですか。最も当てはまるものを3つ選んで○をつけてください。

- 答**
1. 空気や水がきれいで、緑豊かな自然環境が守られている (146)
 2. 産業が盛んで、働く場に恵まれている (283)
 3. 福祉や医療サービスが充実し、高齢者や障がいを持つ人が大切にされている (31)
 4. 地域コミュニティの結びつきが強く、温かい人間関係を大切にしている (90)
 5. 子育て支援が充実し、働きやすい環境が整っている (28)
 6. 国際交流や地域間交流が活発で、県外から多くの人を訪れている (130)
 7. 災害や犯罪が少なく、安心して暮らすことができる (121)
 8. 学校の教育や施設等が充実し、子どもたちを伸び伸びと育てることができる (44)
 9. 住宅や公園、下水道などが整備され、快適な生活環境の中で暮らすことができる (84)
 10. 道路や鉄道などの交通基盤が整備され、どこにでも気軽に行き来ができる (565)
 11. 伝統芸能や創作活動が盛んで、文化や芸術的な雰囲気が豊かである (132)
 12. 娯楽施設が整い、趣味やスポーツを楽しむことができる (248)
 13. 商業施設等が充実し、欲しいものをいつでも手に入れることができる (404)
 14. 人口が多く、人や企業の活動が活発である (351)

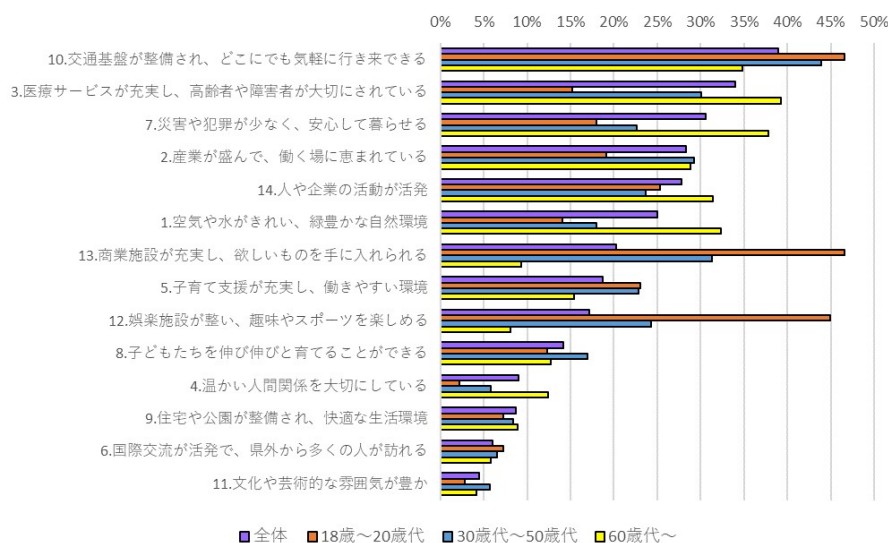
・「道路や鉄道などの交通基盤が整備され、どこにでも気軽に行き来ができる」が 56.7%と半数を上回り最も割合が高くなっている。次いで、「商業施設等が充実し、欲しいものをいつでも手に入れることができる」40.6%、「人口が多く、人や企業の活動が活発である」35.2%と続いている。



問 18 将来の福井県が今よりも良くなってほしいと思うところはどこですか。最も当てはまるものを3つ選んで○をつけてください。

- 答
1. 空気や水がきれいで、緑豊かな自然環境が守られている (626)
 2. 産業が盛んで、働く場に恵まれている (709)
 3. 福祉や医療サービスが充実し、高齢者や障がいを持つ人が大切にされている (852)
 4. 地域コミュニティの結びつきが強く、温かい人間関係を大切にしている (226)
 5. 子育て支援が充実し、働きやすい環境が整っている (468)
 6. 国際交流や地域間交流が活発で、県外から多くの人を訪れている (151)
 7. 災害や犯罪が少なく、安心して暮らすことができる (765)
 8. 学校の教育や施設等が充実し、子どもたちを伸び伸びと育てることができる (354)
 9. 住宅や公園、下水道などが整備され、快適な生活環境の中で暮らすことができる (217)
 10. 道路や鉄道などの交通基盤が整備され、どこにでも気軽に行き来ができる (975)
 11. 伝統芸能や創作活動が盛んで、文化や芸術的な雰囲気が豊かである (112)
 12. 娯楽施設が整い、趣味やスポーツを楽しむことができる (429)
 13. 商業施設等が充実し、欲しいものをいつでも手に入れることができる (507)
 14. 人口が増加し、人や企業の活動が活発な地域になる (697)

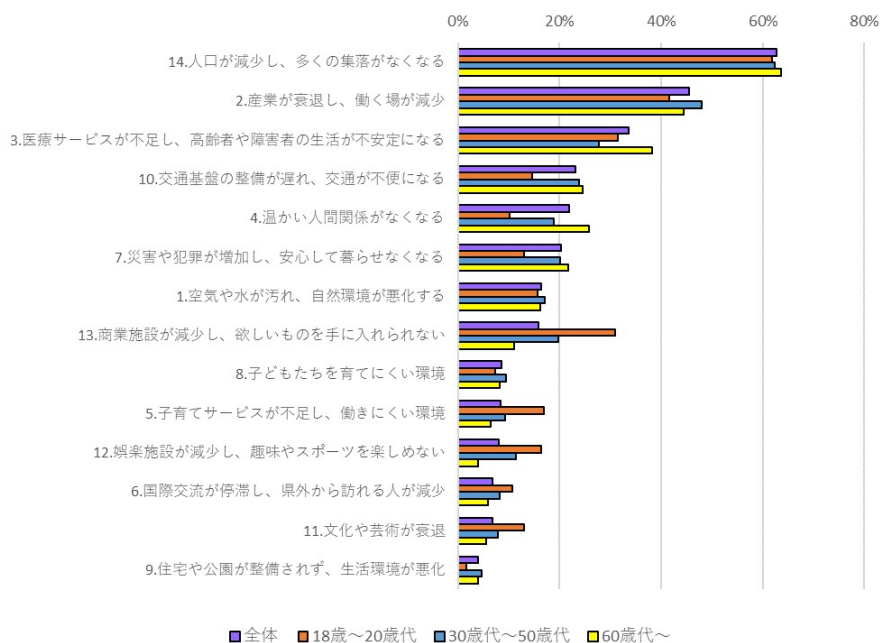
- ・「道路や鉄道などの交通基盤が整備され、どこにでも気軽に行き来ができる」が 38.9%と最も割合が高くなっている。次いで、「福祉や医療サービスが充実し、高齢者や障がいを持つ人が大切にされている」34.0%、「災害や犯罪が少なく、安心して暮らすことができる」30.6%と続いている。
- ・年代別にみると、18歳～20歳代では、「商業施設等が充実し、欲しいものをいつでも手に入れることができる」、「娯楽施設が整い、趣味やスポーツを楽しむことができる」の割合が高く、60歳代以上では、「福祉や医療サービスが充実し、高齢者や障がいを持つ人が大切にされている」、「災害や犯罪が少なく、安心して暮らすことができる」の割合が高くなっている。



問 19 将来の福井県が今よりも悪くなるのではないかと心配に思うところはどこですか。最も当てはまるものを3つ選んで○をつけてください。

- 答**
1. 空気や水が汚れ、緑が少なくなり自然環境が悪化する (408)
 2. 産業が衰退し、働く場が不足する (1140)
 3. 福祉や医療サービスが不足し、高齢者や障がいを持つ人の生活が不安定になる (841)
 4. 地域コミュニティの結びつきが希薄になり、温かい人間関係がなくなる (547)
 5. 子育てサービスが不足し、働きにくい環境になる (208)
 6. 国際交流や地域間交流が停滞し、県外から訪れる人が減少する (171)
 7. 災害や犯罪が増加し、安心して暮らすことができなくなる (507)
 8. 学校の教育や施設等の水準が低下し、子どもたちを育てにくい環境になる (214)
 9. 住宅や公園、下水道などが整備されず、生活環境が悪化する (101)
 10. 道路や鉄道などの交通基盤の整備が遅れ、交通が不便になる (580)
 11. 伝統芸能や創作活動が低迷し、文化や芸術が衰退する (171)
 12. 娯楽施設が減少し、趣味やスポーツを楽しむことができなくなる (199)
 13. 商業施設等が減少し、欲しいものをなかなか手に入れることができなくなる (398)
 14. 人口が減少し、多くの集落がなくなったり、なくなる恐れがある (1572)

・「人口が減少し、多くの集落がなくなったり、なくなる恐れがある」が62.8%で最も高く、2010年調査の結果(45.3%)から大きく増加した。次いで、「産業が衰退し、働く場が不足する」45.5%、「福祉や医療サービスが不足し、高齢者や障がいを持つ人の生活が不安定になる」33.6%と続いている。

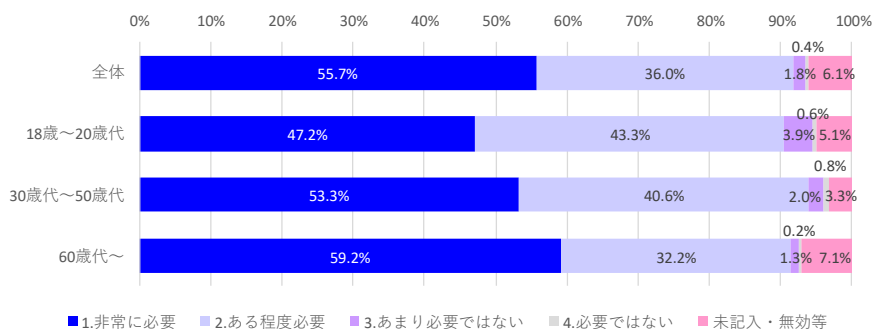


問 20 福井県の将来に向けて、どのような人を育てていくことが必要だと思いますか。次のA～Dの項目の1～4について、最も当てはまるものを1つずつ選んで○をつけてください。

A. ふるさと福井に愛着や誇りを持ち、地域に貢献する人

- 答**
1. 非常に必要 (1394)
 2. ある程度必要 (902)
 3. あまり必要ではない (44)
 4. 必要ではない (11)

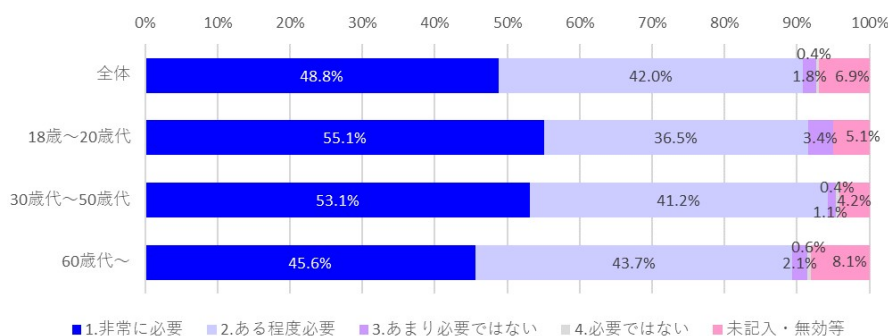
・「非常に必要」の割合が55.7%、「ある程度必要」が36.0%で、両方を合わせた「必要だと思う(計)」が91.7%と9割を超えている。



B. 社会に出たときに必要とされる実践的な能力を身に付けた人

- 答 1. 非常に必要 (1222) 2. ある程度必要 (1052) 3. あまり必要ではない (45)
4. 必要ではない (11)

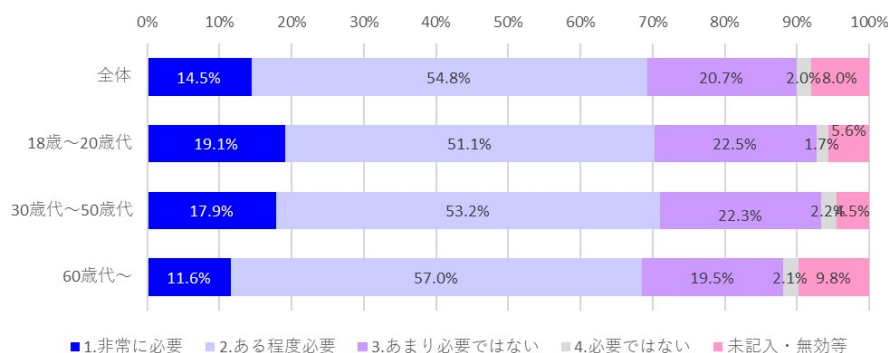
・「非常に必要」の割合が48.8%、「ある程度必要」が42.0%で、両方を合わせた「必要だと思う(計)」が90.8%と9割を超えている。



C. 全国や世界で活躍する科学者やスポーツ選手のように特別な能力を持った人

- 答 1. 非常に必要 (362) 2. ある程度必要 (1372) 3. あまり必要ではない (518)
4. 必要ではない (51)

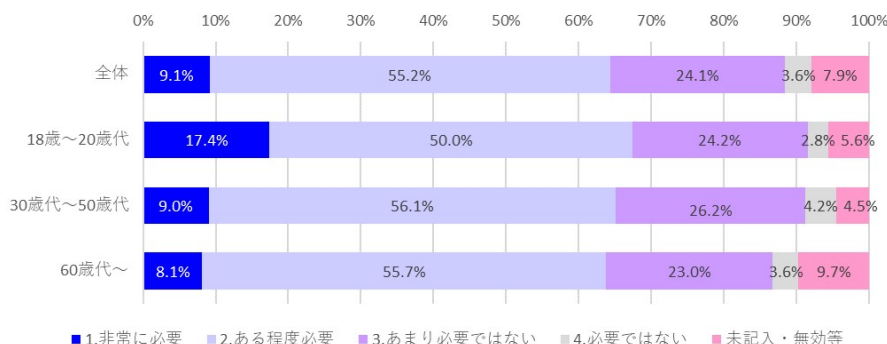
・「非常に必要」の割合が14.5%、「ある程度必要」が54.8%で、両方を合わせた「必要だと思う(計)」が69.3%となった。



D. 有名な高等教育機関（大学等）を卒業するような学力の高い人

- 答 1. 非常に必要（229） 2. ある程度必要（1383） 3. あまり必要ではない（604）
4. 必要ではない（90）

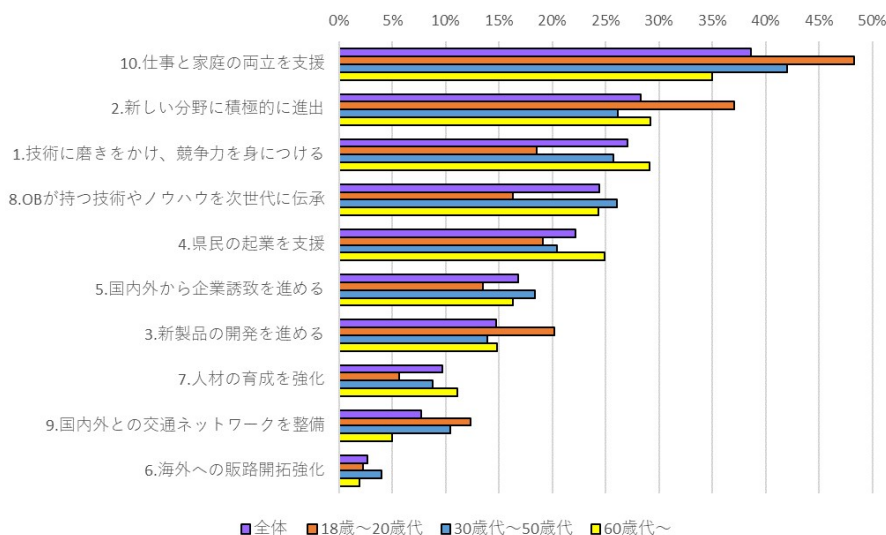
・「非常に必要」の割合が9.1%、「ある程度必要」が55.2%で、両方を合わせた「必要だと思う（計）」が64.3%となった。



問 21 福井県の産業を活性化していくためには、今後、どのようなことが必要だと思いますか。最も当てはまるものを2つ選んで○をつけてください。

- 答 1. 県内企業が持つ優れた技術に磨きをかけ、競争力を身につけること(678)
2. 県内企業が時代のニーズに応じた新しい分野に積極的に進出していくこと(709)
3. 県内企業がAI、IoT、ロボットなどの新しい技術や新素材、新エネルギーなどの導入を進め、新製品の開発を進めること(370)
4. 新しい企業が県内から生まれるよう、県民の起業を支援していくこと(556)
5. 国内外からの企業誘致を積極的に進めていくこと(422)
6. 海外への販路開拓を強化していくこと(68)
7. 国際競争を乗り越える力を持った人材の育成を強化していくこと(243)
8. 退職した高齢者などが持つ技術やノウハウを次世代に伝承していくこと(611)
9. 商品の流通や人の交流を支える国内外との交通ネットワークを整備していくこと(194)
10. 仕事と家庭の両立を支援するなど、誰もが働きやすい環境を整えること(967)

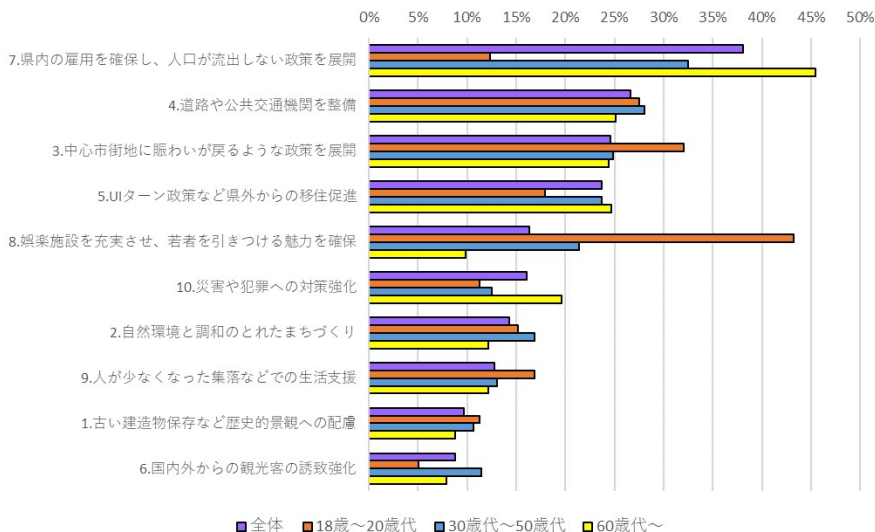
・「仕事と家庭の両立を支援するなど、誰もが働きやすい環境を整えること」が38.6%と最も割合が高くなっている。次いで、「県内企業が時代のニーズに応じた新しい分野に積極的に進出していくこと」28.3%、「県内企業が持つ優れた技術に磨きをかけ、競争力を身につけること」27.1%と続いている。



問 22 福井県の将来に向けたまちづくりに関して、今後、どのようなことが必要だと思いますか。最も当てはまるものを2つ選んで○をつけてください。

- 答**
1. 古い建造物を保全するなど、歴史的な景観への配慮をしていくこと (243)
 2. 公園の整備や自然保護など、自然環境と調和のとれたまちづくりを行うこと (358)
 3. 中心市街地に賑わいが戻るような政策を展開していくこと (615)
 4. 地域内の移動が便利になるよう、道路や公共交通機関を整備していくこと (668)
 5. 都市に出た人を呼び戻すUターン政策など、県外からの人の移住を進めること (594)
 6. 国内外からの観光客の誘致を強化するなど、人の交流が活発になること (220)
 7. 県内の雇用を確保するなど、人口が流出しない政策を展開していくこと (953)
 8. 娯楽施設や商業施設を充実するなど、若者を引きつける魅力を確認していくこと (409)
 9. 人が少なくなった集落などでの人々の生活を支援していくこと (321)
 10. 県民が安心して暮らせるよう、災害や犯罪への対策を強化すること (403)

- ・「県内の雇用を確保するなど、人口が流出しない政策を展開していくこと」が 38.1%と最も割合が高くなっている。次いで、「地域内の移動が便利になるよう、道路や公共交通機関を整備していくこと」26.7%、「中心市街地に賑わいが戻るような政策を展開していくこと」24.6%と続いている。
- ・年代別にみると、18歳～20歳代の「娯楽施設や商業施設を充実するなど、若者を引きつける魅力を確認していくこと」が43.3%となり、他の年代の数値を大きく上回った。

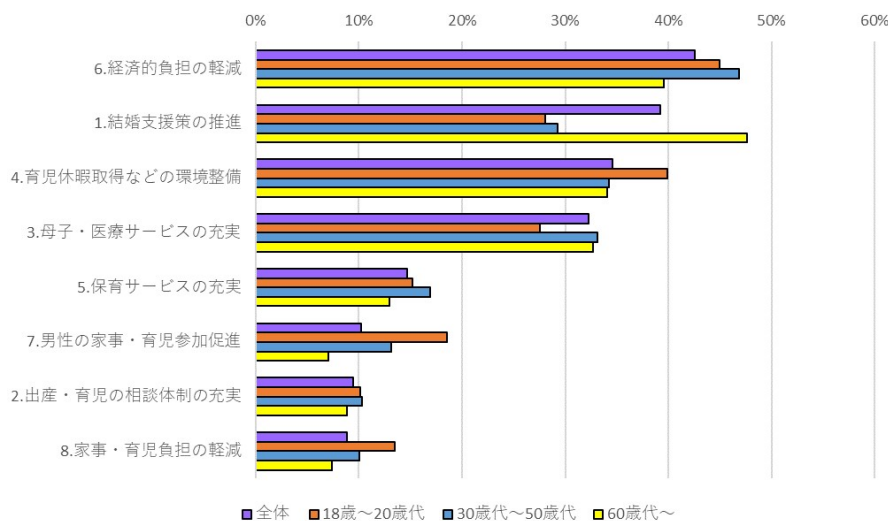


問 23 福井県の人口減少対策（主に自然減対策）に関して、今後、どのようなことが必要だと思いますか。最も当てはまるものを2つ選んで○をつけてください。

- 答**
1. 若者の出会いの場の提供などの結婚支援策を推進すること (982)
 2. 気軽に出産・育児の相談ができる体制を充実すること(236)
 3. 安心して出産・子育てができる母子・医療サービスを充実すること(809)
 4. 企業における産前・産後休暇や育児休業が取得しやすい職場環境の整備を支援すること(867)
 5. 保育所やこども園の保育サービスを充実すること(367)
 6. 育児や教育にかかる経済的負担を軽減するための支援を行うこと(1066)
 7. 男性の家事・育児への参加を促進すること(256)
 8. 家事代行サービスや、ベビーシッターなど家事・育児の負担を軽減するための支援を行うこと(221)

- ・「育児や教育にかかる経済的負担を軽減するための支援を行うこと」が 42.6%と最も割合が高くなっている。次いで、「若者の出会いの場の提供などの結婚支援策を推進すること」39.2%、「企業における産前・産後休暇や育児休業が取得しやすい職場環境の整備を支援すること」34.6%と続いている。

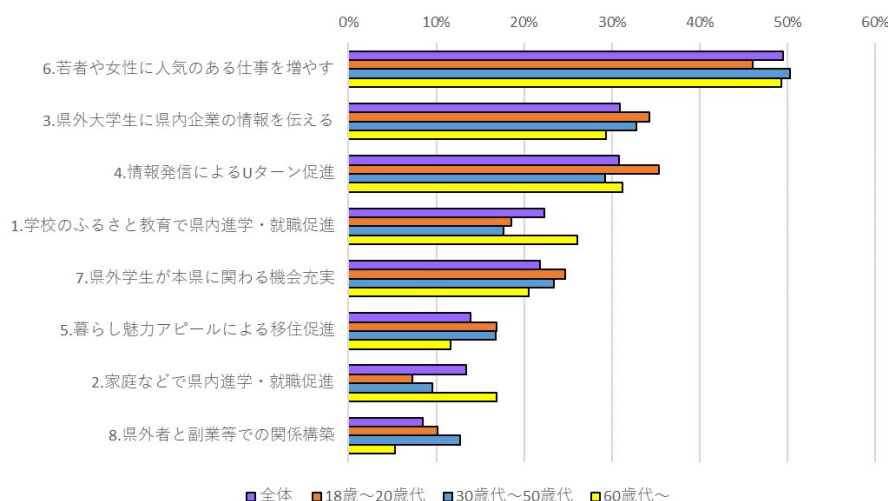
・年代別にみると、18歳～50歳代では、「育児や教育にかかる経済的負担を軽減するための支援を行うこと」の割合が高く、60歳代以上では、「若者の出会いの場の提供などの結婚支援策を推進すること」の割合が最も高くなっている。



問 24 福井県の人口減少対策（主に社会減対策）に関して、今後、どのようなことが必要だと思いますか。最も当てはまるものを2つ選んで○をつけてください。

- 答
1. 学校でのふるさと教育を充実して県内での進学・就職を促すこと(558)
 2. 家族などが子どもに対して県内での進学・就職を促すこと(337)
 3. 県外大学との連携を強化し、県内企業の情報を学生に直接伝えるなどの仕組みを整備すること(774)
 4. 県外に住む本県出身者に福井の情報を定期的に発信することにより、本県へのUターンを促進すること(772)
 5. 三大都市圏などで福井の暮らしの魅力をアピールして移住を促進すること(348)
 6. 企業誘致などにより企画開発や研究部門等の若者や女性に人気のある仕事を増やすこと(1239)
 7. 県外の学生や若者が本県に滞在し地域課題の解決に取り組むプロジェクトなど、本県に深く関わる機会を充実すること(546)
 8. 県外者が兼業・副業等により、本県へ定期的に訪れる関係を構築すること(211)

・「企業誘致などにより企画開発や研究部門等の若者や女性に人気のある仕事を増やすこと」が49.5%と最も割合が高くなっている。次いで、「県外大学との連携を強化し、県内企業の情報を学生に直接伝えるなどの仕組みを整備すること」30.9%、「県外に住む本県出身者に福井の情報を定期的に発信することにより、本県へのUターンを促進すること」30.8%と続いている。



問 25 本県の暮らしの「現在の充足度」と「将来の重要度」についてお聞きします。あなたは次の25の項目について現在どの程度充足されていると考えますか。また、将来の福井県において、どの程度重要であると考えますか。最も当てはまるものを1つずつ選んで○をつけてください。

※得点の算出方法

「充足されている」＝4点から「充足されていない」＝0点までの得点を付与し項目ごとに無回答を除く回答者数で加重平均し指標化

<現在の充足度>

区分	項目	充足されている	どちらかといえば充足されている	どちらともいえない	どちらかといえば充足されていない	充足されていない	無回答	得点
健康	1. 医療機関が整備され、必要な診療や治療を受けることができる	504	1061	491	239	86	123	2.7
	2. 日常的に運動する機会があり、身体の健康を保つことができる	208	786	870	355	127	158	2.3
	3. 毎日の生活や人間関係に悩みが少なく、健やかに生活を送ることができる	232	878	915	250	78	151	2.4
	4. 元気な高齢者が多く、地域や職場において活躍している	233	1023	850	188	40	170	2.5
	5. 福祉が充実し、高齢者や障がいを持つ人が大切にされている	160	682	1135	291	77	159	2.2
小計		1337	4430	4261	1323	408	761	12.1
文化	6. 美術館や博物館に気軽に訪れ、芸術に親しむことができる	218	709	809	413	191	164	2.2
	7. 趣味やスポーツなど、余暇時間を楽しむことができる	187	772	891	370	119	165	2.2
	8. 美しいまちなみや豊かな里山里海湖が守られている	315	1090	714	168	44	173	2.6
	9. 伝統工芸や建造物、祭りなど古くからの歴史が引き継がれている	271	1065	778	172	49	169	2.6
	10. 国際交流や外国人観光客の訪問など、海外とのつながりがある	55	268	1139	587	268	187	1.7
小計		1046	3904	4331	1710	671	858	11.3
仕事	11. 安定した産業基盤が維持されている	68	507	1202	392	155	180	2.0
	12. 起業など新しい事業にチャレンジできる環境が整っている	29	225	1284	538	230	198	1.7
	13. 働く場所と機会が確保されている	91	591	1045	423	180	174	2.0
	14. 働きたいと思える魅力的な職場がある	56	231	1157	570	298	192	1.6
	15. 仕事と家庭の両立など働きやすい環境が整っている	85	534	1104	421	181	179	2.0
小計		329	2088	5792	2344	1044	923	9.3
生活	16. 家族や地域コミュニティなど、人のつながりが大切にされている	209	1044	914	131	30	176	2.6
	17. 災害や犯罪が少なく、安心して暮らすことができる	491	1322	462	46	19	164	2.9
	18. 住宅や公園などの生活環境が充実している	226	947	895	200	59	177	2.5
	19. 道路・鉄道などの交通・生活基盤が整備されている	122	527	818	553	300	184	1.8
	20. 空気や水がきれいであり、緑豊かな自然環境が守られている	732	1172	350	60	19	171	3.1
小計		1780	5012	3439	990	427	872	12.9
教育	21. 学校教育が充実し、子どもたちが伸び伸び育つことができる	343	1214	648	86	29	184	2.8
	22. 地域と学校が協力し、子どもたちを健やかに育てている	284	1201	730	75	23	191	2.7
	23. 高校や大学等において、地域・社会を担う人材の育成が行われている	87	548	1325	260	85	199	2.1
	24. 社会人を対象者とした学びの機会が充実している	56	388	1259	457	143	201	1.9
	25. 保育施設やサービスなどが充実し、安心して子育てをすることができる	211	903	962	169	54	205	2.5
小計		981	4254	4924	1047	334	980	12.0
合計		5473	19688	22747	7414	2884	4394	57.6

- ・区分別では、「生活」の充足度が12.9ポイントで最も高く、次いで、「健康」、「教育」が12ポイント台が続いた。一方、「仕事」の充足度が最も低く9.3ポイントとなった。
- ・「健康」の各項目では、いずれも充足度が2ポイント台と高く、特に「医療機関が整備され、必要な診療や治療を受けることができる」(2.7ポイント)、「元気な高齢者が多く、地域や職場において活躍している」(2.5ポイント)の充足度が高くなっている。
- ・「文化」の各項目では、「美しいまちなみや豊かな里山里海湖が守られている」、「伝統工芸や建造物、祭りなど古くからの歴史が引き継がれている」(いずれも2.6ポイント)の充足度が高い一方、「国際交流や外国人観光客の訪問など、海外とのつながりがある」(1.7ポイント)の充足度が低くなっている。
- ・「仕事」の各項目では、「安定した産業基盤が維持されている」、「働く場所と機会が確保されている」、「仕事と家庭の両立など働きやすい環境が整っている」(いずれも2.0ポイント)の充足度が高い一方、「働きたいと思える魅力的な職場がある」(1.6ポイント)、「起業など新しい事業にチャレンジできる環境が整っている」(1.7ポイント)の充足度が低くなっている。
- ・「生活」の各項目では、「空気や水がきれいであり、緑豊かな自然環境が守られている」が3.1ポイントで全25項目の中で最も高く、次いで「災害や犯罪が少なく、安心して暮らすことができる」(2.9ポイント)、「家族や地域コミュニティなど、人のつながりが大切にされている」(2.6ポイント)、「住宅や公園などの生活環境が充実している」(2.5ポイント)と続いている。一方で、「道路・鉄道などの交通・生活基盤が整備されている」(1.8ポイント)の充足度が低くなっている。
- ・「教育」の各項目では、「学校教育が充実し、子どもたちが伸び伸び育つことができる」(2.8ポイント)、「地域と学校が協力し、子どもたちを健やかに育てている」(2.7ポイント)、「保育施設やサービスなどが充実し、安心して子育てをすることができる」(2.5ポイント)と高い水準で続いている。一方で、「社会人を対象者とした学びの機会が充実している」(1.9ポイント)の充足度が低くなっている。

<将来の重要度>

※得点の算出方法

「重要」＝4点から「重要ではない」＝0点までの得点を付与し項目ごとに無回答を除く回答者数で加重平均し指標化

区分	項目	重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要ではない	重要ではない	無回答	得点
健康	1. 医療機関が整備され、必要な診療や治療を受けることができる	1636	571	65	13	6	213	3.7
	2. 日常的に運動する機会があり、身体の健康を保つことができる	679	1189	351	40	5	240	3.1
	3. 毎日の生活や人間関係に悩みが少なく、健やかに生活を送ることができる	901	1037	300	19	5	242	3.2
	4. 元気な高齢者が多く、地域や職場において活躍している	731	1063	397	46	19	248	3.1
	5. 福祉が充実し、高齢者や障がいを持つ人が大切にされている	964	931	324	27	10	248	3.2
小計		4911	4791	1437	145	45	1191	16.3
文化	6. 美術館や博物館に気軽に訪れ、芸術に親しむことができる	374	1024	721	98	33	254	2.7
	7. 趣味やスポーツなど、余暇時間を楽しむことができる	526	1188	496	35	11	248	3.0
	8. 美しいまちなみや豊かな里山里海湖が守られている	774	1113	334	25	8	250	3.2
	9. 伝統工芸や建造物、祭りなど古くからの歴史が引き継がれている	612	1083	487	63	12	247	3.0
	10. 国際交流や外国人観光客の訪問など、海外とのつながりがある	372	902	803	109	56	262	2.6
小計		2658	5310	2841	330	120	1261	14.5
仕事	11. 安定した産業基盤が維持されている	1023	926	268	15	8	264	3.3
	12. 起業など新しい事業にチャレンジできる環境が整っている	721	1009	459	26	16	273	3.1
	13. 働く場所と機会が確保されている	1045	896	276	23	9	255	3.3
	14. 働きたいと思える魅力的な職場がある	1086	821	295	27	13	262	3.3
	15. 仕事と家庭の両立など働きやすい環境が整っている	1160	818	242	21	10	253	3.4
小計		5035	4470	1540	112	56	1307	16.4
生活	16. 家族や地域コミュニティなど、人のつながりが大切にされている	797	1103	310	26	6	262	3.2
	17. 災害や犯罪が少なく、安心して暮らすことができる	1438	695	116	6	3	246	3.6
	18. 住宅や公園などの生活環境が充実している	805	1112	309	14	11	253	3.2
	19. 道路・鉄道などの交通・生活基盤が整備されている	1132	887	194	17	14	260	3.4
	20. 空気や水がきれいであり、緑豊かな自然環境が守られている	1300	806	133	12	7	246	3.5
小計		5472	4603	1062	75	41	1267	16.9
教育	21. 学校教育が充実し、子どもたちが伸び伸び育つことができる	1338	760	135	8	4	259	3.5
	22. 地域と学校が協力し、子どもたちを健やかに育てている	1161	891	172	13	5	262	3.4
	23. 高校や大学等において、地域・社会を担う人材の育成が行われている	945	954	310	17	5	273	3.3
	24. 社会人を対象者とした学びの機会が充実している	658	1033	486	39	15	273	3.0
	25. 保育施設やサービスなどが充実し、安心して子育てをすることができる	1174	844	200	12	3	271	3.4
小計		5276	4482	1303	89	32	1338	16.6
合計		23352	23656	8183	751	294	6364	80.7

- ・区分別では、「生活」の重要度が16.9ポイントで最も高く、次いで、「教育」、「仕事」、「健康」が16ポイント台で続いた。一方、「文化」の重要度が最も低く14.5ポイントとなった。
- ・「健康」の各項目では、「医療機関が整備され、必要な診療や治療を受けることができる」が3.7ポイントで全25項目の中で最も高く、その他の項目も全て3ポイント台で高い数値となった。
- ・「文化」の各項目では、「美しいまちなみや豊かな里山里海湖が守られている」(3.2ポイント)、「趣味やスポーツなど、余暇時間を楽しむことができる」(3.0ポイント)、「伝統工芸や建造物、祭りなど古くからの歴史が引き継がれている」(3.0ポイント)の重要度が高い一方、「国際交流や外国人観光客の訪問など、海外とのつながりがある」(2.6ポイント)、「美術館や博物館に気軽に訪れ、芸術に親しむことができる」(2.7ポイント)の重要度が低くなっている。
- ・「仕事」の各項目では、「仕事と家庭の両立など働きやすい環境が整っている」が3.4ポイントで最も高く、その他の項目も全て3ポイント台で高い数値となった。
- ・「生活」の各項目では、「災害や犯罪が少なく、安心して暮らすことができる」が3.6ポイントで最も高く、「空気や水がきれいであり、緑豊かな自然環境が守られている」(3.5ポイント)、「道路・鉄道などの交通・生活基盤が整備されている」(3.4ポイント)が続いた。
- ・「教育」の各項目では、「学校教育が充実し、子どもたちが伸び伸び育つことができる」が3.5ポイントで最も高く、その他の項目も全て3ポイント台で高い数値となった。

<現在の充足度と将来の重要度の差>

- ・「仕事」に関する5項目について、全体で最も高い数値となった「働きたいと思える魅力的な職場がある」をはじめ、いずれの項目でも高い数値となった。
- ・その他では、「道路・鉄道などの交通・生活基盤が整備されている」、「高校や大学等において、地域・社会を担う人材の育成が行われている」、「社会人を対象者とした学びの機会が充実している」の数値が高くなった。

問 26 あなたは、問 25 の 25 の項目について将来不安を感じていることはありますか。当てはまるものについて5つまで選択し、以下に番号を記入してください。

答

【健康】

1.医療機関が整備され、必要な診療や治療を受けることができる	775
2.日常的に運動する機会があり、身体の健康を保つことができる	138
3.毎日の生活や人間関係に悩みが少なく、健やかに生活を送ることができる	345
4.元気な高齢者が多く、地域や職場において活躍している	227
5.福祉が充実し、高齢者や障がいを持つ人が大切にされている	659

【文化】

6.美術館や博物館に気軽に訪れ、芸術に親しむことができる	102
7.趣味やスポーツなど、余暇時間を楽しむことができる	153
8.美しいまちなみや豊かな里山里海湖が守られている	268
9.伝統工芸や建造物、祭りなど古くからの歴史が引き継がれている	220
10.国際交流や外国人観光客の訪問など、海外とのつながりがある	155

【仕事】

11.安定した産業基盤が維持されている	538
12.起業など新しい事業にチャレンジできる環境が整っている	166
13.働く場所と機会が確保されている	633
14.働きたいと思える魅力的な職場がある	674
15.仕事と家庭の両立など働きやすい環境が整っている	478

【生活】

16.家族や地域コミュニティなど、人のつながりが大切にされている	270
17.災害や犯罪が少なく、安心して暮らすことができる	575
18.住宅や公園などの生活環境が充実している	81
19.道路・鉄道などの交通・生活基盤が整備されている	743
20.空気や水がきれいであり、緑豊かな自然環境が守られている	277

【教育】

21.学校教育が充実し、子どもたちが伸び伸び育つことができる	332
22.地域と学校が協力し、子どもたちを健やかに育てている	210
23.高校や大学等において、地域・社会を担う人材の育成が行われている	321
24.社会人を対象者とした学びの機会が充実している	210
25.保育施設やサービスなどが充実し、安心して子育てをすることができる	399

- ・「健康」では、「医療機関が整備され、必要な診療や治療を受けることができる」が31.0%で最も高く、次いで「福祉が充実し、高齢者や障がいを持つ人が大切にされている」26.3%、「毎日の生活や人間関係に悩みが少なく、健やかに生活を送ることができる」13.8%が続いた。
- ・「文化」では、「美しいまちなみや豊かな里山里海湖が守られている」が10.7%で最も高く、その他の項目は10%以下となった。
- ・「仕事」では、「働きたいと思える魅力的な職場がある」が26.9%で最も高く、次いで、「働く場所と機会が確保されている」25.3%、「安定した産業基盤が維持されている」21.5%と続いた。
- ・「生活」では「道路・鉄道などの交通・生活基盤が整備されている」が29.7%で最も高く、次いで、「災害や犯罪が少なく、安心して暮らすことができる」23.0%が続いた。
- ・「教育」では、「保育施設やサービスなどが充実し、安心して子育てをすることができる」が15.9%ポイントで最も高く、「学校教育が充実し、子どもたちが伸び伸び育つことができる」13.3%、「高校や大学等において、地域・社会を担う人材の育成が行われている」12.8%が続いた。